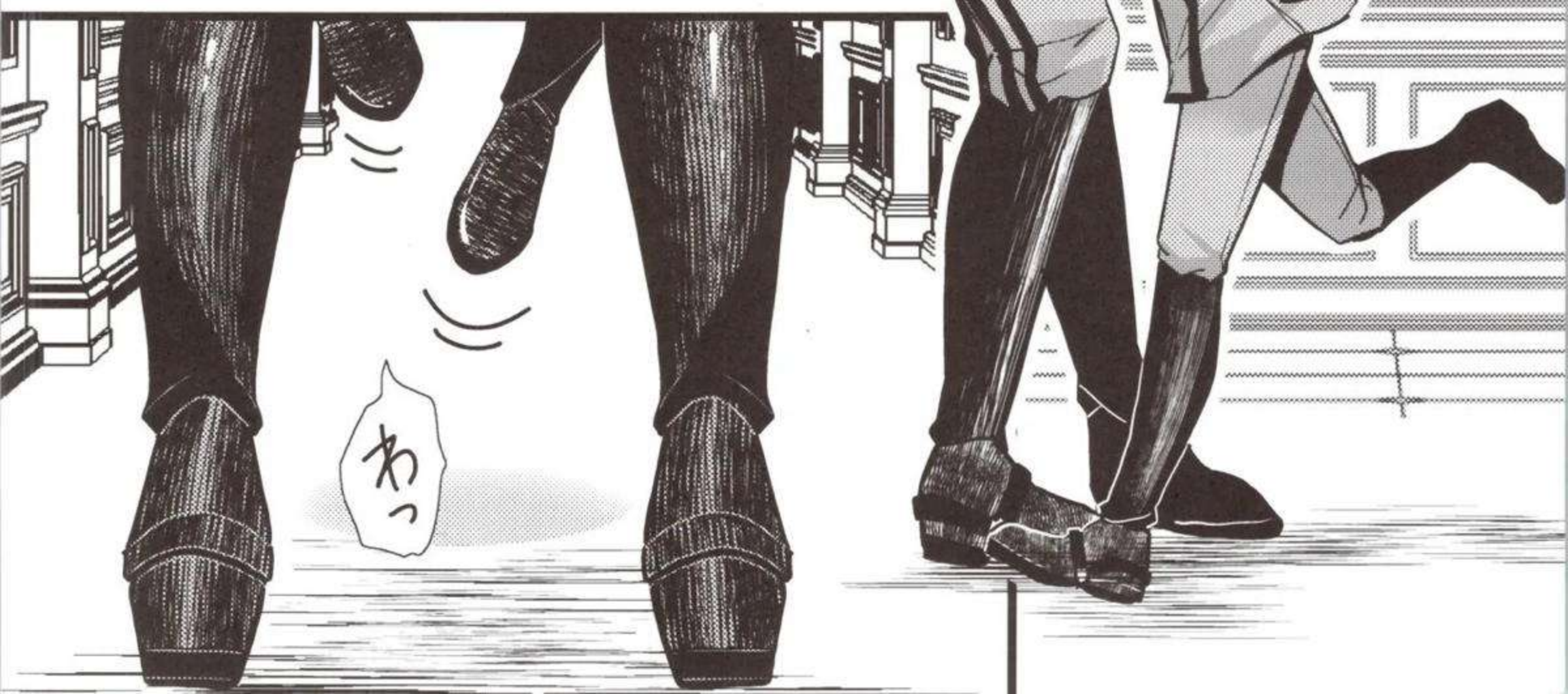




少佐、どういう目的か
知らないが男が勘違い
するような事をするべきじゃない

た…大佐殿!?

君は宝珠さえあれば
大の男相手でも問題は
無いのだろうか

君自身の純粋な力はこんなものだ





もう一度身体が入れ替われば
ということばかり考えていたが、
よく考えたらとんでもない
事をしていた……!!

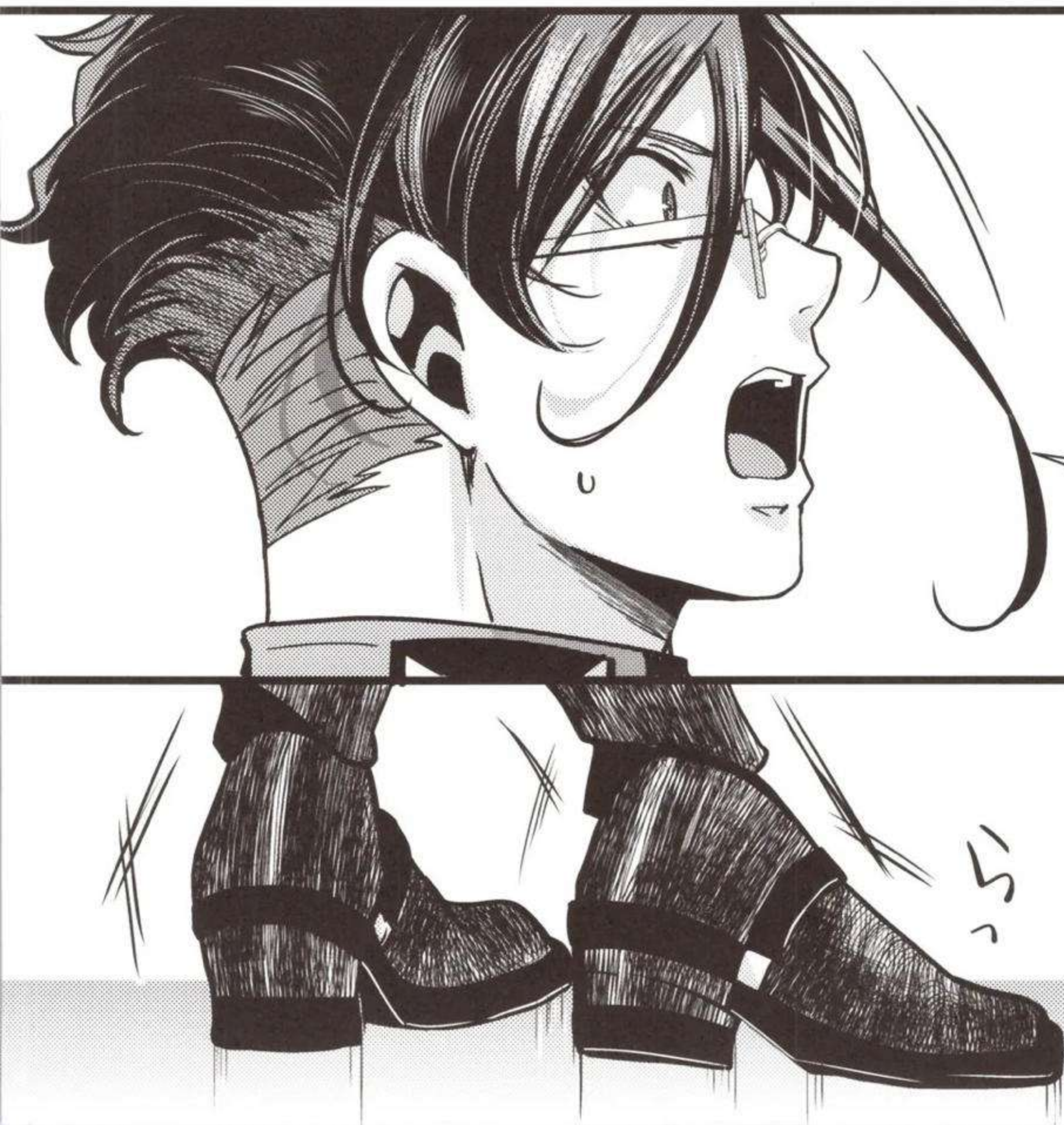
は……はい……
大佐殿……

申し訳
ございません



あ……あのっ
大佐殿!

私としたことが……!!
このままでは私の評価が……!!
弁解を!



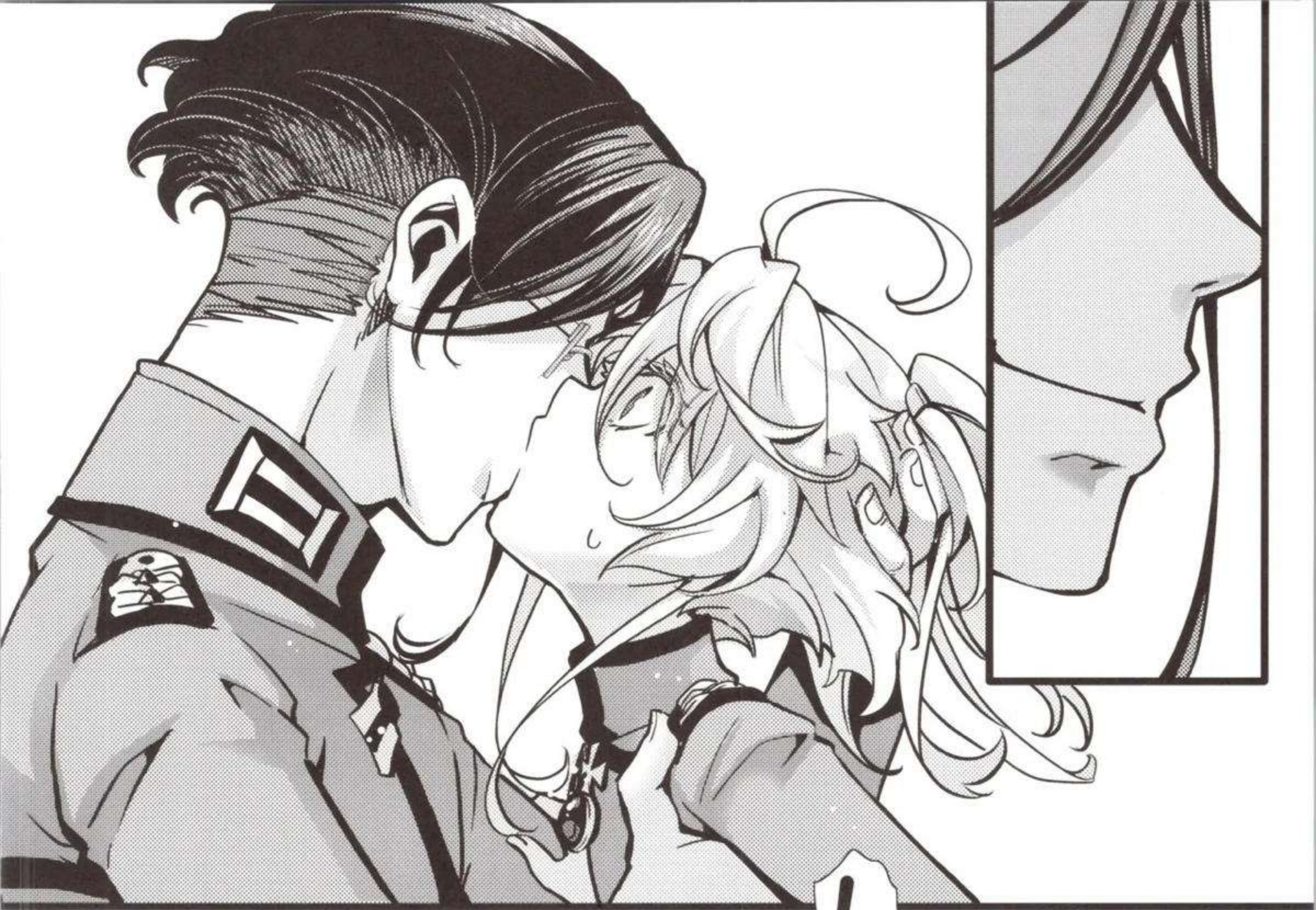
少佐……! 暴れるな……っ



!?

ああああああのっ
も...申し訳ございませんっ!

何をやってるんだ私は!!







随分積極的なんだな
少佐?

へ!?...あ...あのっ

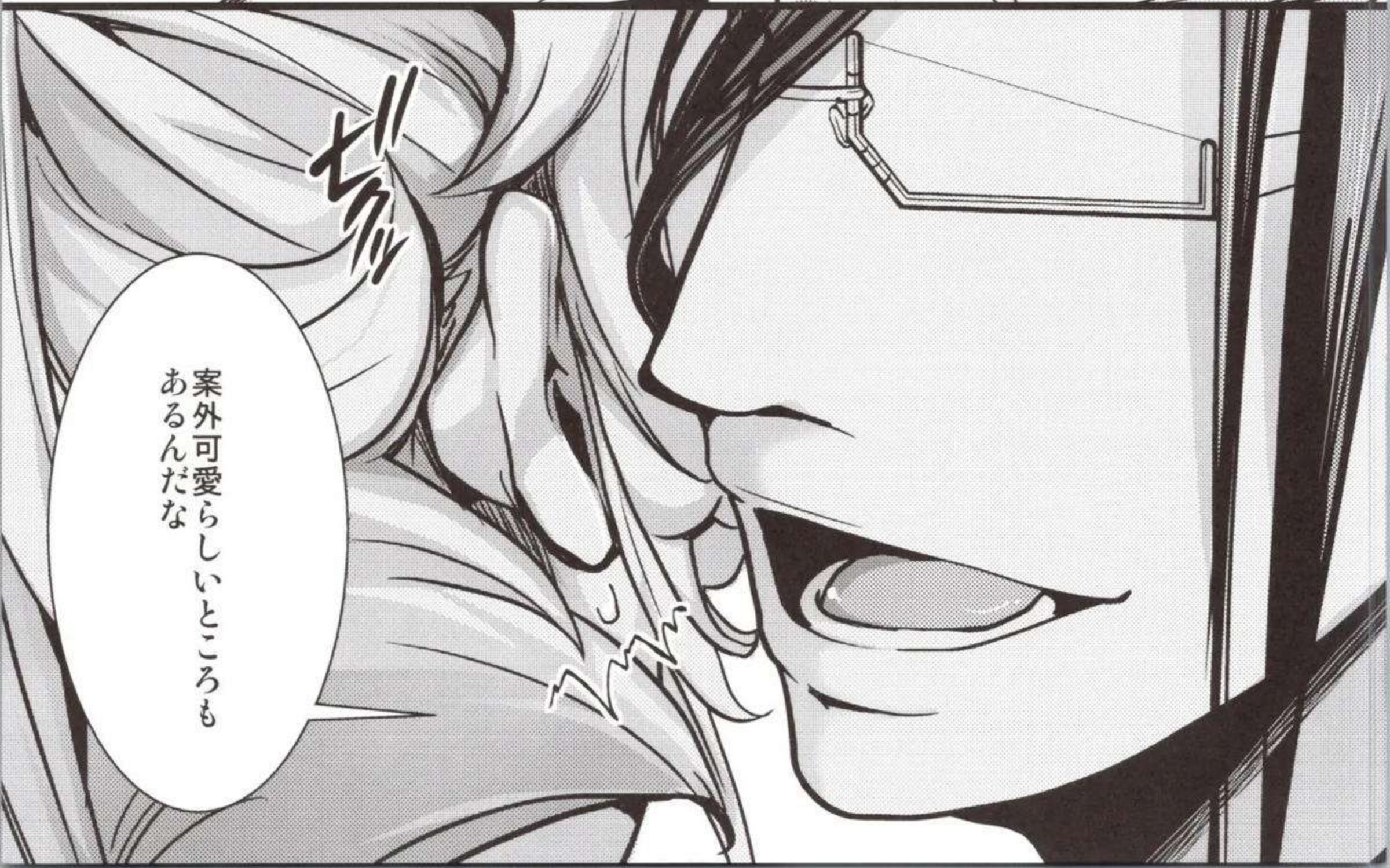


毎日のように
ぶつかってきたのは
君なりのアピールか？

へ!?



君ならもう少し
大人な立ち回りを
すると思っていたが



意外可愛らしいところも
あるんだな



君と入れ替わっていた
少しの間、案外楽しくてな

君といたなら退屈
しないのではないかと

しよ……小官は……

知っているか？
少佐

私達が交際しているという
噂が立っている事を

へ!?!こゝゝ交際!?!
何故です!?!

ぎょん





へ!?...交際!?

あ...あの!
小官は孤児で...

特に問題だとは思わないな

私が大佐殿と!?

男と付き合う
だなんて...
あり得ない!

もちろん断って
くれても構わない



...はずなのに

なんなんだ...
この動悸は...っ

え...えっと...その...

よ...よろしくお願い...します



わ…私は今なんと言った!?

ありがとう
ターニャ



この流れは…

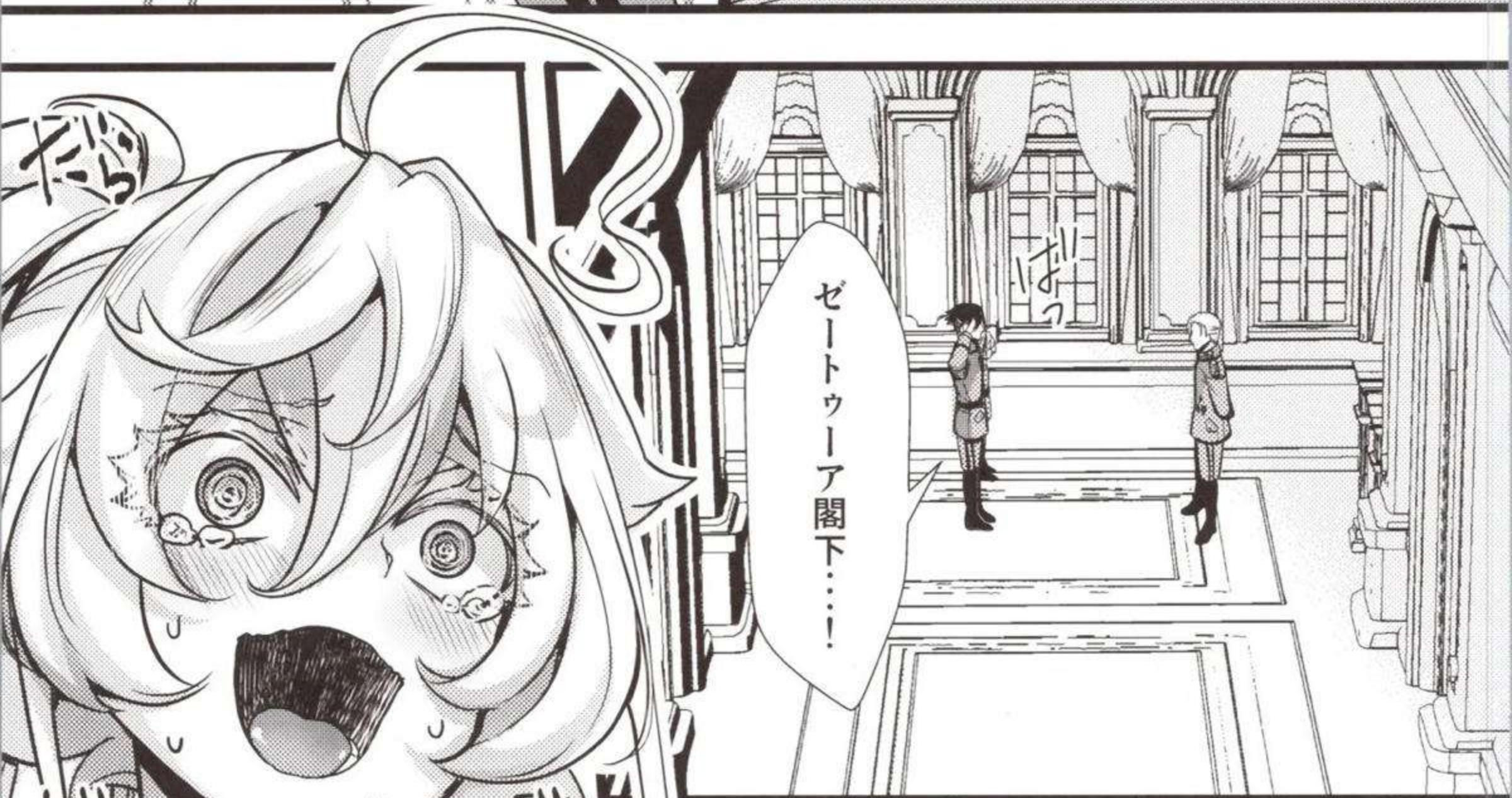


……でも……

嫌悪感がないのは……



おー噂は本当だったのか



ゼートウーア閣下……!



いくら真夜中で
人目がないとはいえ
参謀本部の廊下で
そんな事をされては
風紀の面でどうなのかね

も…申し訳
ございませ…っ

まずい!
非常にまずい!

なんといい訳を
したら…っ!

